

- 名張市防災訓練に併せて名張川河川防災ステーション完成後10年を記念し、名張川河川防災ステーションの役割を知って頂くパネル展を開催しました。
- パネル展では多くの地元住民の方々が足を止め、職員の説明に耳を傾けていました。
- また、洪水に対する名張市民の意識啓発を目的として、災害対策資材や機械を展示しました。

開催日時:平成28年11月19日(土) 10時～12時
開催場所:三重県名張市 鴻之台公園、箕曲小学校

10周年を迎えた
名張川河川防災ステーション



名張川河川防災ステーションには水防活動に必要な土砂などの緊急用資材を備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要なヘリポートを整備し、非常災害時の防災拠点となる施設です。

鴻之台公園(避難場所)



10周年を迎えた名張川河川防災ステーションの説明を通し、防ステの重要性、必要性を地元住民の方々に認識してもらいました。

地元の方々からは、「最近大きな被害は起こっていないが、このような施設(防ステ)があると私たちも安心できる。」といった感想が寄せられました。

鴻之台公園(避難場所)



照明車の操作を体験



箕曲小学校では対策本部車、照明車の展示。

国土交通省では、完成から一定期間経過した治水施設について、地域の方々と、その生い立ちを振り返り、果たしてきた役割や地域の水害・土砂災害リスクについて再認識していただく「アニバーサリープロジェクト」を推進しています。国土交通省HPにて、アニバーサリープロジェクトを紹介しています。

<http://www.mlit.go.jp/river/annipro/index.html>

【問い合わせ先】国土交通省 近畿地方整備局 〒518-0723 三重県名張市木屋町812-1
木津川上流河川事務所 管理課 TEL 0595-63-1611

